



峰山MTBキャンプ



11/14 ~ 15

大塚賢一

メンバー 尾川洋一 45才 大塚賢一 43才 中垣早人 29才 田中彰 24才 福岡好雄 51才



ずっこけるアキラを見て 大笑いの早人

恒例の峰山でのMTBキャンプを行いました。今年は去年に比べて人数も少なくキャンプ派は尾川・私・早人・アキラの4人で私のメンバーの7人用のテントもゆったりで最高に気持ちよく睡眠もとれました。

14日は、ベースキャンプを張ったのが昼の12時頃になったので、ラーメンタイムを取り、13時頃から砥の峰方面に向かって3人で走り出しました。気温・景色ともに最高の遊び日より3人とも子供に帰ったように(もっぱら、遊びとなれば我々はすぐに無邪気になるのだが・・・)峰山から砥の峰のダートコースを漕ぎまくりドリフトもなんのそので・・・素晴らしい景色の砥の峰に到着。私は

先週にもちか子姫を来ているのだがこの一週間の内に良く冷え込んだせいもあり紅葉の一段と美しく、それにも増して砥の峰の山肌に群渡るススキの群には「・・・」ぐらいに言葉では言い表せないほどの美しさである。穂先が風にたなびかれて太陽の光を思うがままに受けて、まるで浜辺のさざ波が波打っているように素晴らしい光景である。この日は早々に切り上げて、峰山名物の「トロン温泉」に入りゆっくりと汗と疲れを流し、テントサイトに戻ると尾川さんが来ていた。早速、タープの下で「魚

すき」の用意をして、「峰山・砥の峰」にキャンピングである。夜も寒くも無くまた非常に夜空も晴れわたり、星の大群である、心なしかうっすらと「天の川」も見えるようであった。

この夜は「狐」の鳴き声に少々悩まされたが、ぐっすりと眠りについた。

15日は、久々に朝もゆっくりと起きて(山に来てこんなに遅く起きるのはオートキャンプだけである)。朝食のパンを済ませて「太田ダム」に向かってダウンヒル・アップヒルの連続でいきなりの心拍数180である、私も2人の若者に負けずに頑張っ

て必死に付いていく。帰りは山越えあり、担ぎあり、川こぎあり、階段登りあり、で最後は落ち葉のじゅうたんを走るをいう何とも変化に飛んだ素晴らしいコースで充実の午前であった。テントサイトに戻ると御大の福岡氏が1000ccのバイクでかっとなで来ていた。皮の上下、ブーツに身をく

るめ「かっこいい!」そのものである(ちょっと誉めすぎ)。彼は去年定年で遊び人である、非常に羨ましい人生を送っている一人である。午後からは、またまた砥のね方面へ行ったはいいのだが、帰りにとんでもないところに迷い込み非常に体力・気力ともまいってしまった。尾川さんは、午前・午後とも大自然の中でランニングをしていた。

しかし、この2日間はいいい汗を流してリフレッシュできたものである、と言っても私は毎週がこんなであるが・・・。



落ち葉を疾走



ベースキャンプ



紅葉から飛び出す



ススキ高原をバックに

